

2019年度目録委員会記録 No.1

第1回委員会

日時：2019年6月22日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、安食、石澤、木村、谷口、鴫田、藤井、村上（一）、村上（遥）、横山
<事務局>三浦

[配布資料]

1. 今後の委員会活動に向けてのメモ（2019.6.22）（8ページ-A4、渡邊委員長）
2. 2019年全国図書館大会三重大会の開催について（4ページ-A4、JLA事務局）
3. NDLからの質問事項（5ページ-A4、村上（一）委員）
4. NDLからの質問事項（追加）（1ページ-A4、村上（一）委員）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認

2018年度第10回の記録については、2018年度委員によるML上での確認を行い、確定している。

2. 2019-2020年度委員会の構成

新委員として、安食優子委員（東京大）・木村麻衣子委員（慶應大）・谷口祥一委員（慶應大）・鴫田拓哉委員（共立女子大）・藤井眞樹委員（NII）が4月に、石澤文委員（NDL）が6月に、それぞれ就任した。渡邊隆弘委員長（帝塚山学院大）・村上一恵委員（NDL）・村上遥委員（東京外国語大）・横山英子委員（TRC）が前期から留任した。

[検討事項]

1. 今期活動について

資料1に基づき、今期活動について検討を行った。

- ・ 増刷・正誤表対応について、7月に予定されている3刷の刊行に合わせ、ホームページのPDF版を更新することとし、担当者とスケジュールを検討した。
- ・ 全国図書館大会について参加予定者を確認し、次回委員会でタイムスケジュールを検討することとした。
- ・ マッピング、データ作成事例集について今後検討を行うこととする。
- ・ IFLA LRM、RDA ベータ版、IFLA 関係等の動向把握の必要性について確認した。

2. NDLからの質問事項について

資料3～4に基づき、NDLからの質問事項について検討を行った。

- ・ 複数巻単行資料における新規の記述が必要な変化について、#2.0.5Aと#2.3.0.6の不整合について検討を行った。
- ・ 「タイトル・ページ」の範囲について検討を行った。
- ・ 著作の典拠形アクセス・ポイントの形式における「結合形」の解釈について、MARC

フォーマット上での表現方法との関係で検討を行った。

- ・ 出版表示が情報源がなく、頒布または製作に関する情報が判明している場合の扱いについて検討を行った。

次回以降の委員会の予定

7月13日（土）

以 上